

平成29年産 紀南の中晩柑産地情報

2018/01/11



1. 結実・果実の生育状況

本年の中晩柑結実量は、品種・園地によりバラツキはあるものの、各品種とも少なくなっている。

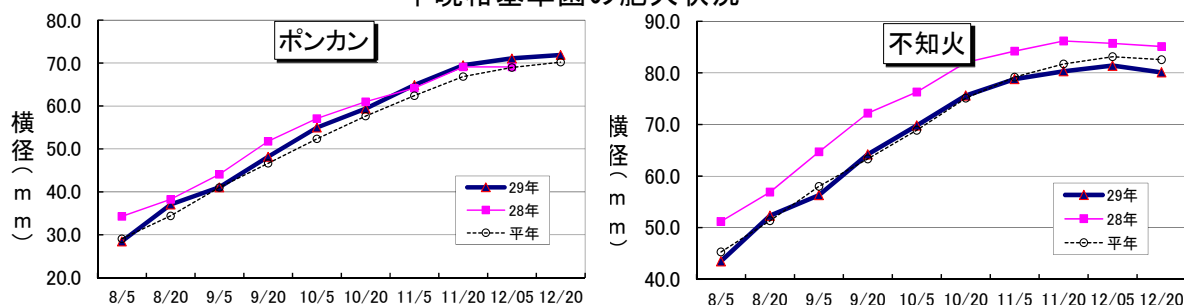
2. 果実の品質

1月9日時点の不知火の定点品質調査では、糖度12.％、酸度1.40％となり、前年に比べると糖度はやや低く、酸度は高くなっている。

12月20日時点の実肥りは、ポンカンが平年並み、不知火では平年よりやや小さくなっている。ただし品種や着果量によって若干のバラツキがある。

着色は、各品種とも平年に比べるとやや遅れている。

中晩柑基準園の肥大状況



3. 収穫・販売予定

◎木熟ポンカン

1月に入り本格的に収穫が始まり、2月下旬まで販売予定。

◎八朔・紅八朔

1月に入り収穫を開始しており、販売は1月下旬までを予定している。

木熟八朔は3月上旬から販売予定。

◎不知火（デコポン）

ハウス不知火（デコポン）は1月下旬から2月上旬にかけて販売予定。

露地不知火（デコポン）は2月中旬から3月中旬にかけて販売予定。

4. 管内生産予想量（1月11日時点）

主要品種	面積 ha	生産予想量 t	生産量前年比%
ポンカン	39.7	367	77
八朔	27.5	425	89
不知火	31.1	335	79
中晩柑合計	215.0	2,511	81

生産量は今後の気象等により変動することがある。